

株式会社TOP

社長の大手メーカーでの経験と技術をベースに、パワー半導体検査装置製造に取り組むスピンアウト企業。熊本の雇用を継続、促進していくことを使命に掲げ、創業3年目で売上げ急成長する「株式会社TOP」について、代表取締役 重村 慎二氏にお話を伺いました。



熊本から発信！ リーデ

会社のおいたち、なぜ入居したのか

注目のニッチ市場に、技術力で挑戦！

会社設立の経緯について教えてください。

前職の大手半導体検査装置メーカーでの経験を活かし「熊本の成長、発展に貢献したい」という想いから、2011年5月、私が生まれ育った熊本でパワー半導体検査の会社を創業しました。

昨今、半導体関連産業を取り巻く環境は大変厳しい状況であると言われていますが、当社で製造している検査装置は、省エネルギーの機運が世界で一気に高まっている中で、高圧の電源を必要とする電気自動車や発電機器などの制御デバイスとして注目されているパワー半導体をターゲットにしています。3年後の市場規模は約200億ドルと推定されているパワー半導体ですが、現時点では、一般半導体より市場規模が小さいことや、検査装置自体の標準化が難しいことから、大手メーカーでは参入しづらいニッチな市場となっています。そこで、当社の高い技術力をもって、注目度が高く、技術的な競合が少ない市場に、挑戦することを決めました。

くまもと大学連携インキュベータへ入居したきっかけは何でしたか。

くまもと大学連携インキュベータに入居していた当社の取引先より評判を聞き、設立間もない当社にとって、賃料補助、

会議室などのパブリックスペースの無料開放等が、初期投資の軽減になると思い入居しました。入居当時は、正直、施設面の充実だけを期待していましたが、実際に入居すると、施設面の充実はもちろん、当社の事業計画を理解しているIMが、日常的に当社の事業に必要な情報を提供してくれ、事業経営の面でも非常にサポート頂いています。

入居——その後の成長、展開

高速で安定した検査技術と半導体特性に応じた対応がお客様製品の安全をサポート！

強みの1つである検査速度の速さの理由は何ですか。

当社のパワー半導体の検査技術は、長年、半導体検査を行ってきたエンジニアだからこそ可能にする熟練した手法と、アナログで管理していたデータをデジタル化し検査精度を高める先端的手法がベースとなっています。両者の手法の融合により、さらに正確で従来の10倍速い検査の実現や、半導体毎の特性に応じた検査装置自体のカスタマイズを可能としました。半導体の価格は製造工程の時間に比例して反映されますので、検査速度の高速化は非常に強みとなります。

それらの技術が評価され、2013年3月には、西日本の大手

製品紹介

半導体検査技術を応用し半導体検査、自動車電子部品関連製品の測定及び装置を提供。製造工程において、性能等を試験し、良品と不良品の選別を高速に測定し、コストパフォーマンスの向上を図っている。



高機能パワー半導体動特性検査装置

(TOP-2000シリーズ)

高速で安定した測定、低温または高温な状態での測定も実現し、民生機器用、車載用、産業機器用IGBT試験、産業機器用MOSFET試験等に活用可能！主に、コンタクトチェック、ワーク温度測定、ワーク破壊チェック、誘導負荷スイッチング試験等々のテスト項目に対応している。

会社概要

入居BI くまもと大学連携インキュベータ

代表取締役 重村 慎二

所在地 熊本県熊本市中央区南熊本
3丁目14番138号304

事業概要 パワー半導体検査装置用プログラムの開発、
高電圧・電流測定コンサルティング

URL <http://www.top-jpn.com/>



重村 慎二 社長

- 2011年 5月 ●元大手半導体検査装置会社出身の重村慎二を中心に
資本金900万円にて創業
- 6月 ●くまもと大学連携インキュベータに入居
- 2012年 6月 ●熊本県起業化支援センター様等の支援により資本金5,100万円に増資
- 2013年 3月 ●日本政策金融公庫様より特別融資制度「新事業育成資金」認定。
- 5月 ●熊本市新製品・新技術研究開発事業 採択
- 5月 ●くまもと産業支援財団 くまもと夢挑戦ファンド事業助成金 採択
- 6月 ●ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発支援補助金 採択
- 8,9月 ●ファンド in 九州、ファンド in Tokyo 発表(中小機構基盤整備機構主催)
- 11月 ●熊本県地域雇用創造事業 採択 4名採用
- 12月 ●熊本市市場企業雇用支援事業 採択 3名採用

パワー半導体検査装置の イングカンパニーを目指す!

検査装置会社と提携し、自動車部品メーカーに初出荷し、現在も、各所から受注を受けている状況です。

御社の技術を支える人材についてお聞かせください。

設立当初より、熊本の発展のために、地元の優秀な人材を雇用し続け、育てて行きたいと考えていました。リーマンショック後、大手企業の優秀な技術者たちが、事業自体の打ち切りにより職を失う事例をよく目にしました。現在では、その優秀な人材を当社で採用し、彼らの強み、得意分野を当社で発揮してもらうことで、当社の発展、熊本の発展のため、活躍してもらおうと考えています。もちろん、彼らの意欲向上のためにも事業の継続性は大事にしています。

入居してよかったことについてお聞かせください。

前述したとおり、当初は施設面での支援のみを期待していました。国や自治体のインキュベーションは各所に存在しますが、こちらの求めている情報はあまり頂けない印象がありました。しかし、くまもと大学連携インキュベータは、IMが施設に常駐しているので、困った時にはすぐに相談に行けますし、国の施策や支援情報の提供スピードも非常に早く重宝しています。補助金等の獲得の際には、事業計画書の書き方もマンツーマンで指導頂け、かなり事業に踏み込んだ支援をしてもらっています。また、中小機構で行われている資金調達マッチング「ファンドイン東京、九州」にも参加し、最近では会社の事業運営や社内体制強化、資本政策等に関して専門家の派遣をしてもらっています。



ファンド in 九州

業を運営してきています。

当面は、現在のビジネスモデルで出荷先を増やして行くことで、市場での信頼を得ていきたいと思っています。そして、個別にオーダーメイドで製造していた装置については、プラットフォーム化し、量産対応を実現することで、台数、収益性の向上を図り、5年後には売上10億円の企業を目指したいです。そういった成長の過程で、もちろん、IPOも視野に入れています。

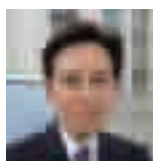
計測技術で地域に貢献しながら、TOPという名の通り、この技術分野で「トップ」になれるように日々精進していきます。

BI 紹介

くまもと大学連携インキュベータ

くまもと大学連携インキュベータは、中小機構が、熊本県、熊本市及び熊本大学をはじめ地域の大学等と連携して運営する大学連携型インキュベーション施設です。IMが常駐し、産学連携や知財戦略、事業計画の作成や資金調達、販路開拓など入居企業の様々な課題解決をサポートします。

〒860-0812
熊本県熊本市中央区南熊本3-14-138
Tel.096-364-5115
Fax.096-364-5116



くまもと大学連携
インキュベータ
チーフIM 堀 義親



同社の技術力は、自動車部品製造企業、半導体製造企業などから高く評価され、受注実績も伸び事業も大きく成長しています。地域のリーディング企業として同社の更なる成長をサポートしていきたいと考えています。

そして、これから…/今後の課題

着実な成長を遂げ、ニッチトップ企業へ

御社の今後の展望についてお聞かせください。

当社は、設立時の構想である事業計画に沿って、着実に事